

2026年度選抜

試験区分	学校推薦型選抜 ・ 特別選抜（社会人選抜）
学部学科	看護学部 看護学科
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>看護学部は、募集要項等に公表している「看護学部アドミッション・ポリシー」への受験生の適合性を把握することを目的に、入試科目に小論文を設定している。</p> <p>本年度、学校推薦型選抜及び社会人選抜の小論文では、「看護学部アドミッション・ポリシー」の中でも特に、「人間や社会に強い関心がある人」「人を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする人」「客観的・論理的思考ができ、自分の考えや感じ方をわかりやすく表現できる人」の3点に関連した志願者の能力の高さを見極めることを目指し、問題を設計した。</p> <p>また、高校までに学修している「学力の3要素」との対応関係では、「知識・技能」の確実な習得と「思考力・判断力・表現力」の2つの要素が、アドミッション・ポリシーに則した観点から志願者に「主体的で対話的な深い学び」として育まれているかについて評価することを目指した。</p> <p>出題では、「あなたがしたり、されたりした『見て見ぬふり』の体験から、感じたこと・考えたことを論述してください」と投げ掛け、出願者の日頃の生活実感に基づいた「見て見ぬふり」に関する在り方・考え・態度・思考の把握を目指した。</p> <p>具体的な採点では、自身の体験をじっくり内省した上で、「見て見ぬふり」に関連して自分がいかに感情と、その背景にある要因について、どれくらい深く考察できているかを主要な基準にして、評価した。採点では加えて、設問の趣旨を正確に読み取る日本語理解力、論理的に筋道を立てて記述する日本語表現力、現象を多角的に捉え自分の考えを豊かに説明する力などを、評価の視点とした。</p> <p>なお、解答時間は80分、論述文字数は1200字以内とした。</p>